

別小江みこし会

北区城北学区に住む子ども達が大人になった時、「自分の住んでいる町に愛着を持ち続け、自慢できるふるさとを創ってあげたい!」と熱い想いを持った有志が集まり、昭和57年に“祭り”の会を設立し、今年で32年目となります。自治会や地域住民の協力を得て、老若男女、多くの方々を楽しめる祭りを開催し、今では地域住民のコミュニケーションの場として成り立っています。私達「みこし会」メンバーは、まちの活性化につながる精神を大切に活動しています。

団体名・概要

1 青少年教育の取組み

「まちの子どもは地域で育てる」を目的に中学生以上の子どもの対象に「お囃子隊」として定期的に子ども達に和太鼓・踊りを教える活動を行いました。参加した子ども達も真剣に取り組み、私達も『顔のみえる活動』の重要性を感じ取る事が出来ました。



2 夏まつりの開催 H25.7.20 (土) / 別小江神社境内

■ 屋台で地域の人とのコミュニケーション

お年寄りから幼児まで楽しめる(工夫を凝らした手作りの)ゲームコーナーやフードコーナーの屋台を開き、この屋台を通して地域の人とのコミュニケーションの場を作っています。



3 秋まつりの開催 H25.10.13 (日) / 城北学区内

■ おみこし・子供山車の巡行

町全体が活気に溢れ、楽しい1日を過ごしました。おみこしを担ぐために地方からも参加者が集まり、城北学区の知名度を上げる事も出来ました。また、子供山車に参加した親から『日常生活にはない、親子での共通会話ができ、参加して本当に良かった』などの感想をいただき、家族の結束力を強める活動になっていると改めて認識する事が出来ました。

■ お囃子隊による和太鼓や踊りの披露

お揃いの衣装を纏い、これまで練習してきた和太鼓や踊りの成果を地域の皆様に披露しました。みこしを巡行する途中で立ち寄った老人ホームでは、観客の皆様のいきいきとした笑顔が印象的で、子ども達には自分の行動が周りを元気づけていると感じさせることができ、とても良い経験でした。



4 餅つき大会の開催 H25.12.22 (日) / 別小江神社境内

住民同士の相互理解を深めるコミュニケーションの場として餅つき大会を開催しています。新しく移住した住民でも気軽に参加が出来るよう、地域住民が声を掛けあって参加してもらっています。